

令和3年7月17日
奈良地方気象台

大阪管区気象台は、本日（17日）11時に「梅雨の時期に関する近畿地方気象情報第2号」を発表しました。

（見出し）

近畿地方は梅雨明けしたとみられます。

（本文）

近畿地方は、湿った空気の影響で雲が広がり、雨の降っている所がありますが、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。向こう1週間も、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は7月17日ごろに梅雨明けしたと見られます。

なお、梅雨の期間は62日間となり、梅雨入り・梅雨明けの記録がある1951年（昭和26年）以降、最も長い期間となります。

（参考事項）

1. 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けの時期

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月6日ごろ	7月19日ごろ
昨年	6月10日ごろ	8月1日ごろ

2. 梅雨入りを発表した5月16日から7月16日までの降水量の合計

観測所名	降水量の合計（ミリ）※1	平年値（ミリ）※2
奈良	507.5	367.2
針	513.0	424.7
田原本	468.0	348.5
曾爾	525.5	443.7
葛城	430.0	373.8
大宇陀	584.5	392.4
五條	425.5	377.5
吉野	520.5	371.0
天川	607.0	528.8
上北山	803.0	630.5
風屋	724.5	676.8
下北山	881.5	//※3
葛川	939.0	//※3



- ※1 「降水量の合計」は速報値であり、後日修正する場合があります。
- ※2 「平年値」は今年の梅雨期間の「日別平滑平年値」を合計したものです。梅雨期間は毎年違うため、他の年とは単純に比較できないことに留意ください。
- ※3 葛川観測所及び下北山観測所は観測期間が短いため、平年値はありません。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日が変更となる場合があります。

問合せ先：奈良地方気象台 担当：本多
〈平日〉 電話：0742-22-2556